

2010年7月1日
株式会社パスコ

(おしらせ)

合成開口レーダー衛星「TanDEM-X」の打ち上げに成功

2010年6月21日(月)、日本時間11時14分にカザフスタンのバイコヌール宇宙基地から「TanDEM-X」を搭載したロケットが無事打ち上げられ、6月24日には最初のデータを受信しました。

「TanDEM-X」は2007年から運用されている同型機の「TerraSAR-X」と同じスペックのレーダー衛星であり、地上514kmの軌道で同期します。2機はわずかな視差の違いで同一場所を同時に観測することにより、世界中の数値標高モデル(DEM)をDLR(ドイツ航空宇宙センター)が取得します。

取得する数値標高モデル(DEM)の精度は相対的精度2m以下となります。

世界規模のDEMとしては、2000年に取得されたSRTMデータ(緯度60度内のDEM)※がありますが、「TanDEM-X」ミッションでは、「TerraSAR-X」と「TanDEM-X」の同時撮影を行い、全球12m程度グリッドのDEM(予定)を今後3年間で取得する予定です。

※Shuttle Radar Topography Mission:日本人宇宙飛行士が搭乗していたスペースシャトルミッションで取得。SRTM-3で約90mグリッド

「TanDEM-X」の本格運用までには、衛星軌道の補正や姿勢制御の調整、DEMの検証等で数ヶ月間を要します。

(参考)

「TanDEM-X」で撮影されたファーストイメージ

http://www.dlr.de/en/desktopdefault.aspx/tabid-11/129_read-25278/

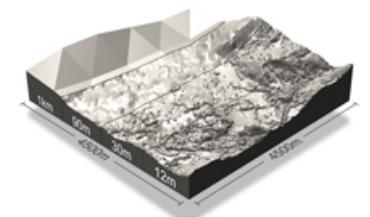
撮影データの販売開始時期につきましては、改めてご連絡いたします。

本件に関する問い合わせ先:

株式会社パスコ 衛星事業部 TEL 03-4570-3065



TerraSAR-X との同時撮影イメージ



取得精度の違いによるDEMの表現



ファーストイメージ